

2021年7月19日

あおぞら投信株式会社

# 「金利とは リターンを見込む マネーフロー 長短に人の 思い織り交ぜ」

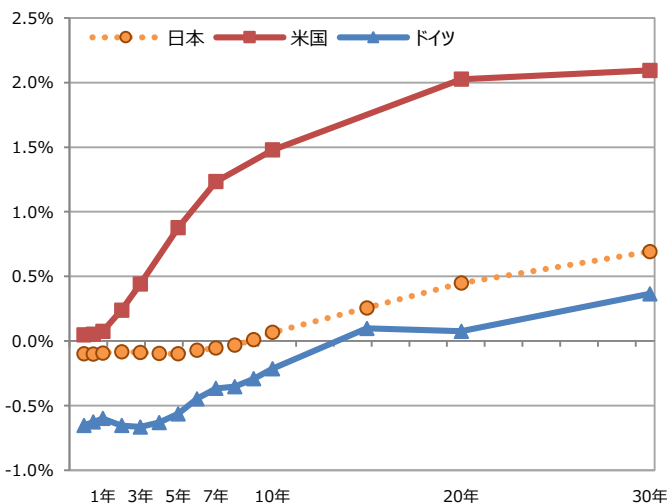
米国株式市場の主要指数は、2021年後半のスタートした時点でも史上最高値の更新が続いています。昨年2020年3月にコロナ禍での株式市場の急落以降、経済活動についての見方が分かれる中、米国のみならず世界の株式市場は上昇を続けてきています。そしてその前提には金融政策の質(金利)と量のサポートがあります。特にFRB(米)の経済をサポートするための歴史に残る積極的な緩和策について、さらにテーパリング(量的緩和の縮小)については益々注目が集まります。

金融政策は、短期金利の決定と債券購入によるイールドカーブへの働きかけという大きく2つの役割があります。そしてその働きかけに呼応する各経済主体の動きがイールドカーブの位置と傾斜(長短金利差)を決定していくのです。例えば、1年以内の短期国債の金利はO/N(オーバーナイト)\*との関係で多くのマネーフローの反映となります。1年から3年までの短期債ゾーンは銀行勘定など機関投資家運用の中心部分です。3年から10年までの中期ゾーンでは、企業の資金調達を中心としての社債発行とその需給が金利の位置を決めます。10年超の30年プラスのゾーンは個人の住宅ローン金利の新規借入と借り換え需給が金利の位置を決める大きな要素となります。このように経済活動の各主体と中央銀行の金融政策が対話を続けながら資本市場全体が動いているのです。そしてこのダイナミズムが米国株式市場への安定的なマネーフローを形成することで、企業活動を支えて成長の配当を受け取れるのです。そしてここからはインフレの可能性、その他ボラティリティとレバレッジの戦いなどを含めた金利動向の安定が、世界株式の大なるサポートであることは変わらないということです。米国金利の示していることは『市場は常に先を織り込んでいる』ということだと考えます。

\*コール市場における無担保での資金貸借のうち、約定日に資金の受払を行い、翌営業日を返済期日とするものにかかる金利のこと。

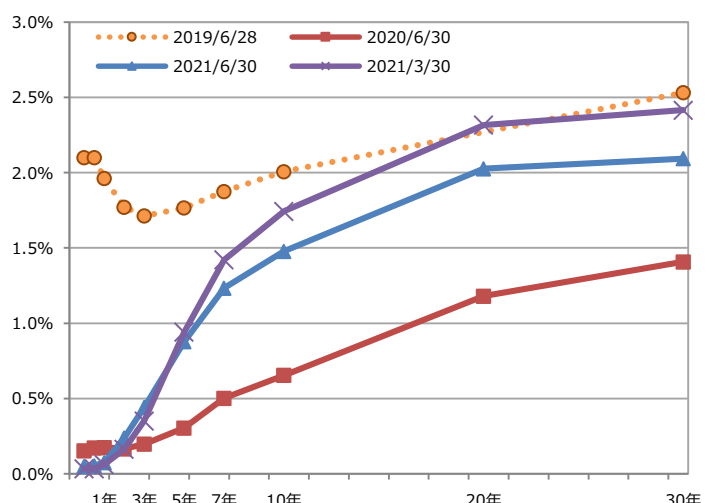
柳谷俊郎

各国のイールドカーブの推移



期間	1年	3年	5年	7年	10年	20年	30年
日本	-0.092%	-0.088%	-0.099%	-0.054%	0.067%	0.448%	0.692%
米国	0.075%	0.442%	0.877%	1.233%	1.478%	2.026%	2.093%
ドイツ	-0.599%	-0.664%	-0.563%	-0.366%	-0.214%	0.076%	0.365%

米国のイールドカーブの推移



期間	1年	3年	5年	7年	10年
2019/6/28	1.962%	1.713%	1.766%	1.875%	2.007%
2020/6/30	0.175%	0.197%	0.305%	0.502%	0.654%
2021/3/30	0.061%	0.351%	0.941%	1.422%	1.744%
2021/6/30	0.075%	0.442%	0.877%	1.233%	1.478%

出所：Bloombergのデータを基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>